チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	利用人数に対して適切なスペースを確保しております。また、机の位置や学習スペースと活動スペースを分けております。		
	2	職員の配置数は適切である	6	法令で定められている以上の人員配置で対応しております。		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構成された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	事業所の床はフラットになっており、活動しやすい環境になっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	6	清掃を必ずおこない、定期的に環境整備をおこなっております。また、季節に応じて装飾等をおこなっております。		
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	6	特性など必要に応じて、個別の部屋で対応をおこなっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	6	定期的にリフレクション会議を行っております。また朝礼や昼礼等で職員が意見を出し合う機会を設けております。		
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	定期的に、アンケートによる評価を実施しております。いただいたご意見やご要望は、周知、検討し、順次改善に努めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	リフレクション会議や昼礼などで話し合う機会を設けており、業務改善につなげております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や社内内で研修を開催する機会が確保している	6	事業所内の研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	6	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	6	ご意向や各関係機関との連携を踏まえ、支援計画の見直しをおこない、客観的に分析したうえで作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	6	リフレクション会議や昼礼などで話し合い、共通理解を図ったうえで支援をおこなっております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	6	フレクシオン会議や昼礼などで話し合い、共通理解を図り、支援をおこなっております。		
	15	児童の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	6	統一されているツールを用いて、定期的に児童の状況や保護者様の意向を確認しております。		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援」「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	保護者様や関係機関との連携をおこないながら、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」等の内容を踏まえ、児童に必要な支援内容の具体化に努めております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	リフレクション会議や昼礼で出た意見やアイデアを取り入れ、季節や年齢に配慮した活動内容を立案しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	児童の特性や成長に合わせ、固定化しないよう活動プログラムを考えております。また、季節の製作・行事などの活動を実施しております。		
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	6	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて、個別性、多様性のある計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	6	支援開始前に送迎や療育について打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	終礼や昼礼などで打ち合わせを行い、役割分担の確認をおこなっております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	日々の活動の記録を取り、情報共有を行い、支援の検証と改善につなげております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	6	定期的にモニタリングをおこない、計画内容の評価を保護者様にご説明しております。保護者様の意向をお聞きし、児童の現状を考慮し見直しや支援の方向性を定めております。		
	関係機関や保護者様との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参加している	6	担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しております。	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	6	地域保健等には課題がありますが、協力医や関係機関との連携についてはその都度連携をとりながら支援体制を整えております。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解に努めております。		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解に努めております。		
28		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っている				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている				
30		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けている	6	地域の児童発達支援センターと連携を図っております。		
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある	6	今年度は交流の機会はありませんでした。	今後保護者様の意向を伺いながら検討してまいります。	
33		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	連絡帳や送迎時にその日の療育内容等についてお伝えしております。また、保護者様からはご家庭での状況などを伺い、情報共有に努めております。		
保護者様への説明責任等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	6	協議会へ参加し、学んだ知識や情報は、児童への支援に努めておりますが、保護者様が参加できる研修は現状実施できておりません。	今後保護者様の参加できる研修の機会について検討してまいります。	
	35	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	保護者様からの相談に対しては随時受け入れ、保護者様や児童に寄り添った助言と支援をおこなっております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明をしております。また、ご質問や不明な点がないかなどを確認しながら進めております。		
	37	児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	6	児童の状況や保護者様の要望などに対応できるように、送迎時の声掛けや会議等を行い、相談しやすい環境づくりに努めております。		
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	6	保護者様と情報共有を行い、ご説明を行い同意を得ております。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	6	現時点で保護者会等を実施できておりません。	今後保護者様の交流の機会について検討いたします。	
	40	児童や保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	保護者様よりいただいたご意見は全職員で共有し、迅速に対応できるように努めております。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	6	公式Webサイトのブログで事業所の様子についてお伝えしております。また、SNSや事業所だよりなどを活用し情報を発信しております。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意している	6	個人情報の使用や、使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	43	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	児童の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っております。保護者様にも伝え方や対応についてできる限り相手立場に立った配慮をおこなっております。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	6	地域住民の方を招待する企画運営はできておりません。	保護者様の意向をうかがい検討してまいります。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	マニュアルを策定し掲示しております。保護者様や職員にも周知しております。		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常時の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	業務継続計画（BCP）を策定し、非常時災害が発生したときに備え、定期的避難訓練を実施しております。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	6	契約時に保護者様へ確認を行い、変更があったときは全職員で共有しております。		
	48	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6	保護者様よりアレルギーの情報をいただいたときは、全職員で共有し、共通理解を図っております。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	6	安全計画を作成し、定期的に必要研修や避難訓練等をおこなっております。		
	50	児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している	6	避難訓練等を行ったときは、保護者様に周知しております。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	6	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有を行っております。事例をもとに話し合いの場を設けて、再発防止に努めております。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	県主催の虐待防止研修に参加し、事業所内研修にて周知しております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、身体的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ書面により保護者様の同意を得るようにしております。		